

入院患者図書サービス実現に至るまでの過程

香川 由美子

(入院患者図書サービス委員会)

1. はじめに

社会保険広島市民病院では、平成11年2月1日より、入院患者に一般図書の貸出をするサービスを開始した。このサービスは、入院患者の毎日のひとときが少しでもやすらぎのあるものになるように、との願いから計画され、実現するために「入院患者等図書サービス実施準備委員会」(以下準備委員会)が設けられた。

「準備委員会」は副院長を委員長とし、各部門(医局3名、医療技術3名、看護部3名、事務2名)から選出された委員で構成され、委員会事務局は院内図書室に設置した。

2. 準備委員会での協議内容

第1回準備委員会開催(平成10年1月6日)。

患者図書サービスについての意義をよく把握してもらうため、他病院の先進事例を紹介し、貸出対象、図書の収集方法、サービスの提供方法、消毒、スケジュール等について計画試案を提示し、これを各委員が検討することにした。また、次回の準備委員会までに、病院内を巡回し、どこに患者用図書室が設置できるかどうか、広島市立中央図書館から団体貸出が可能かどうかなど、さまざまな調査を行うこととした。

第2回準備委員会開催(平成10年6月1日)。

基本的な方針を決定した。

(1) 貸出対象は入院患者とする。



(2) 7月に院内を対象として①図書の寄贈、②カバー貼り等の職員ボランティア参加を呼びかける。

(3) 職員ボランティアのコーディネイトは委員長が行い、登録名簿を作成し準備委員会のメンバーと共に随時加わり作業を行う。

(4) 図書収集目標は1,000冊以上とし、その内容は主に一般図書(小説、文庫本、漫画など)で、その他入院患者向きと思われる図書を対象とし、好ましくないものについては委員会で検討し除外する。気持ちよく利用してもらうため、図書には抗菌カバーを貼る。今回はカセットテープ、ビデオテープは再生機器がないことから対象外とする。

(5) 貸出方法

表1の方法2または方法3のどちらかを選択する。貸出は希望する病棟に一括して行う(病棟用の図書収納ラックまたはブックトラックは購入する)。貸出期間は1か月とする。

(6) 回収した図書の消毒、整理も準備委員会メンバーが中心となって進める。

以上を基本方針としたが、貸出方法につい

表1 貸出方法

(計画試案より抜粋)

区分	貸出方法	メリット	デメリット	備品購入
方法1	・専用図書室での貸出 ＜サブライ棟1階＞ 週1回(午後の数時間) 程度開室	・相当量の図書の閲覧 が可能(2,000～ 3,000冊以上)	・アクセスが悪い (屋外通行が必要) ・利用目的が制限 される	・書棚 ・閲覧台 ・カウンター等 ・回収ボックス
方法2	・各病棟の面会室等に移動 式の小型本棚を常設 1か月サイクルで次の病 棟に順送りする	・入院患者がいつでも 自由に閲覧できる	・閲覧できる冊数 が、100～200冊 程度と少ない ・在庫管理が 実質上不可	・移動式の本棚また はブックトラック ・回収ボックス
方法3	・移動式の小型本棚を1～ 2チームで、月1回程度 のペースで各病棟を巡回 する1つの病棟ごと、面 会室等に30分程度滞在	・スタッフの負担が 少ない	・利用日時が制限 される ・閲覧できる冊数 が、100～200冊 程度と少ない	・移動式の本棚また はブックトラック ・回収ボックス
方法4	・図書目録 (病棟詰所に配置)による、 閉架式貸出 週1日又は随時	・スタッフの負担が 少ない	・積極的な利用が 見込めない	・回収ボックス (全病棟分)

てはもう少しよく検討してみることにした。また問題点等が発生した場合は協議を行い、順次修正していくことにした。

とりあえずは、本がなければ何も始まらないので、図書寄贈依頼(図1)を院内に配布し、平成10年7月6日、図書の収集を開始した。受入は図書室で行い、寄贈台帳を作成していった。暑い時期だったが、多くの職員が紙袋やダンボールに図書を詰めて図書室に持参した。

第3回準備委員会開催(平成10年9月18日)。

図書を約1,400冊収集できたことを報告した。

看護部の委員が実施希望のアンケートを各病棟でとった結果、8つの病棟において実施することが決定した。結核病棟、救命救急センター、小児科病棟は最初から除外した。

貸出方法は方法2を選択することに決定した。各病棟の面会室や詰所の前に移動式のブ

ックトラックを常設し、定期的な交換を行うことにした。貸出カードはつけず貸出の手続きは行わないことにした。できるだけ自由に利用してもらおうということ、およびなるべく人手をかけないという理由からである。図書は選びやすいように分類をつけた。小説、随筆、小児、漫画、健康・家庭、趣味、教養、歴史の8分類とし、本の背の下側に色別のラベルシールを貼ることにした。約800冊が小説であった。分類はブックトラックのサイドに表示を出した。必要最低限の備品としてブックトラック9台、抗菌カバー、ラベルシールを購入した。

第4回準備委員会開催(平成10年10月22日)。

委員が選書作業を図書室において行った。選書の方針として、①清潔な本であること、②各分野の専門書でないもの、③患者向きであるものとした。汚れのある図書や医学専門

平成10年7月6日

入院患者図書サービスについてのお知らせ

入院患者等図書サービス実施準備委員会
委員長 杉村 功

この度、入院中の患者さんへの図書サービスを計画しています。つきましては職員の皆様から図書の寄贈をお願い致します。下記の要領でご提出頂ければ幸いです。

なお、寄贈図書の採用につきましては委員会の決定によることとさせていただきます。

また、この企画運営は院内職員のボランティアによる活動を主として考えております。今後皆様方の御協力をいただく際にはその都度お知らせ致しますので、何卒よろしくお願いします。

記

寄贈図書受付について

- 1) 受付開始 7月6日(月)より
- 2) 受付場所 図書室
- 3) 対象図書 一般図書(小説、随筆、文庫本、漫画、趣味、スポーツなど)
児童図書、絵本
その他入院患者さん向きと思われるもの

図1 図書寄贈依頼

入院患者等図書サービス協力申込書

所 属 _____

	氏 名
11月16日(月)	
11月17日(火)	
11月18日(水)	
11月19日(木)	
11月20日(金)	
11月24日(火)	
11月25日(水)	
11月26日(木)	
11月27日(金)	
11月30日(月)	
12月1日(火)	
12月2日(水)	
12月3日(木)	
12月4日(金)	

11月10日(火)までにご記入のうえ図書室まで提出して下さいようお願い致します。

図3 ボランティア協力申込書

平成10年10月29日

入院患者等図書サービスについてのお知らせ

入院患者等図書サービス実施準備委員会
委員長 杉村 功

たくさんの図書を寄贈していただき、誠にありがとうございました。お陰様で1487冊集まりました。現在、平成11年1月より8箇所の病棟で図書サービスを発足させるべく準備中です。

つきましては、図書の整備を行うにあたり、職員の皆様方の御協力を是非いただきたいと存じます。下記の要領で行いますので、何卒よろしくご協力致します。

記

- 1) 日 時 11月16日(月)～ 17時～18時
- 2) 場 所 図書室
- 3) 作業内容 1) 分類ラベルの図書への貼付
2) ブックカバー掛け

御希望の日時を別紙に記入のうえ図書室までお知らせくださるようお願いいたします。

図2 ボランティア協力依頼

書などは除いていった。

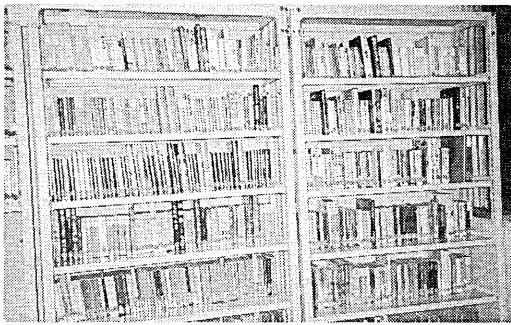
図書にカバーを貼ることができる状態になったので、カバー貼り、ラベルシール貼りを職員ボランティアに呼びかけ、日程表に協力できる日にちを記入して提出してもらった(図2、図3)。

平成10年11月12日、患者図書用書庫(サブライセンサー1階)内に約3分間薬を噴霧し、寄贈図書の消毒を行った。

平成10年11月16日から職員ボランティアによるカバー貼りなどの作業が開始された。毎日17時から18時の間、実質12日間行われ、延べ人数115名が参加した。

作業開始の前に第5回目の準備委員会を開き、作業内容および手順の確認とカバーの貼り方を実習した。都合のつく委員はできるだけ率先して作業に参加してもらった。たびたび参加してくれた職員ボランティアは手慣れて作業がスムーズに進んでいくようになった。

体裁の整った図書は順次書庫へ運び、書棚



に配架していった。配架が完了した時点で平成10年12月21日、第6回目の準備委員会を開催し、8台のブックトラックへの積み出しについて協議を行った。8台のブックトラックに分類が偏らないように配慮し、リストを作成した。図書の交換はブックトラックを順送りに回転させていくことにした。貸出は患者の自由としているので、ブックトラックを回収したときに冊数の確認をして図書の補充をすることにした。

第7回準備委員会開催（平成11年1月29日）。

8台のブックトラックにそれぞれ約150冊の図書を積み出しして準備が完了し、2月1日、委員が各病棟にブックトラックを搬送配置して閲覧を開始した。患者図書サービスに対する病院の理解と多くの職員の協力により、ここに入院患者図書サービスを実現することができた（図4）。

3. 現在の状況と今後の課題

入院患者図書サービスを開始して1か月半

貸し出しのご案内

入院患者さんに毎日のひとときをすこしでも安らぎのあるものにしていただけるように図書をお貸ししております。貸し出しの手続きは必要ありませんのでどうぞご自由にご利用下さい。



図4 貸出案内

を経過した時点でブックトラックの回収を行った。そこでブックトラックごとに分類別の冊数を確認し、少なくなった図書の補充を行い、ブックトラックを順送りに別の病棟へと配置した。また、図書の補充のため、広島市立中央図書館から除籍本をいただくことになり、受け取りに伺った。これからの課題は寄贈図書の収集にあたり、図書分類の偏りをなくすことや新刊書が少ないことを如何にするのか、またどのように運営を軌道にのせていくのかなどがある。やっと第1歩を踏みだしたばかりの試みではあるが委員会（開始後は「入院患者図書サービス委員会」となった）が中心となり、今後さらに意義のある活動になるよう努力していきたいと考えている。

【参考文献】

- 1) 菊池 佑, 菅原 勲 (編著) : 患者と図書館. 仙台, 明窓社, 1983.
- 2) 山室眞知子 : 病院図書室の現状と京都南病院の図書サービス. 図書館雑誌 83(6) : 322-323, 1989.
- 3) 高田たみ代 : 図書館利用に障害のある人々へのサービス, 患者に大好評・あすなろ文庫-岐阜県・大垣市民病院の実践-. 図書館雑誌 87 (7) : 443-445, 1993.
- 4) 松井美保子 : 青森市民病院「すこやか文庫」. 病院図書館 17 (2) : 10-14, 1994.
- 5) 菊池 佑 : 日本の病院図書館1994, -10



- 年ぶり3回目の全国調査一、図書館界 46 (6):231-244, 1995.
- 6) 山室眞知子: 患者図書サービスからみた健康・医療情報. 医学図書館 42 (1):55-58, 1995.
- 7) 有田由美子: 県立がんセンター新潟病院患者図書サービス「あかね文庫」一患者アンケート報告一ほすびたるらいぶらりあん 20 (4):152-153, 1995.
- 8) 山室眞知子: 病院における患者図書サービス. 病院54 (5):498-499, 1995.
- 9) 嶋 大二郎: 患者図書サービス: 「オアシス文庫」と「エンジェル文庫」の経験. 病院図書館 18 (2):54-73, 1995.
- 10) 奈良岡 功: 大規模病院における小規模ボランティアサービスによる一自治医科大学病院における患者図書サービスの現状一. 全国患者図書サービス連絡会会報 4 (1):12-15, 1997.
- 11) 地原かおり: 「健康情報ライブラリー」を開設して. 全国患者図書サービス連絡会会報 4 (3):68-72, 1997.
- 12) 菊池 佑: 病院管理フォーラム 病院患者図書館. 病院 56 (4):366-367, 1997.

「医学中央雑誌ユーザー会」開催のご案内

一インターネットサービス発表一

医学中央雑誌刊行会では、来る9月に第3回「医学中央雑誌ユーザー会」を、東京と大阪で開催します。このたびのユーザー会では、医中誌データベースのインターネットサービス開始にさきがけて、その概要を中心にお伝えする予定です。医中誌ユーザーに限らず、医療情報のインターネットサービスに関心をお持ちの方多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日時及び場所

東京

平成11年9月22日(水) 午後1時30分～5時
(引き続き、7時まで懇親会)

「アルカディア市ヶ谷」にて

大阪

平成11年9月24日(金) 午後1時30分～5時
(引き続き、7時まで懇親会)

「ホテルサンルート梅田」にて

2. 内容

医中誌インターネットサービスの概要、
医中誌データベースの紹介、講演など

3. 参加費

無料(ユーザー会、懇親会とも)

4. お申し込み方法

FAX、郵送、E-mailにて承ります。詳細については医学中央雑誌刊行会にお問合せください。申し込み用紙をお送りいたします。また、当会のホームページでもご案内しています。

お申し込みの〆切は、8月27日(金)です。
(定員になり次第、締め切らせて頂きます。)

*尚、参加申し込みは1機関2名様までとさせていただきます

医学中央雑誌刊行会

(〒168-0072)東京都杉並区高井戸東2-5-18

TEL:03-3334-7625/FAX:03-3334-0497

/E-mail:info@jamas.gr.jp

ホームページ <http://www.jamas.gr.jp/>